

～～第8511回～～

播隆祭・槍ヶ岳

～H30. 8. 31-9. 2～

(槍沢コース) 8/31(金)今回の播隆祭には韓国から16人がゲスト参加となった。上高地バスターミナルに予定通り、早朝5:30に到着。朝食をとりながら身支度をしていると雨が降ってきた。雨具着用を指示するが、韓国隊は雨具を持っていない人がほとんど。雨具は必携品である旨、事前に連絡したはずが、韓国人と登山するとういうことが多々ある。彼らは雨具を着ないで雨の中を歩くことに抵抗がない。売店でビニール合羽を購入などして出発。本日の行程は槍沢ロッジまで。遊歩道のような道なので安心ではある。雨は降ったり止んだりを繰り返している。途中、穂高神社奥宮明神池を拝観して、梓川沿いに登っていく。ちょうど12:00に槍沢ロッジに到着。チェックインして、玄関前の広場で昼食をとっていたら、大雨となり小屋に避難。小屋の前の槍沢が濁流となっていく。これ以降に到着した人は皆ずぶぬれで気の毒だった。玄向寺の住職たちの播隆隊も直前で降られたといていた。談話室で懇談。モロッコ出身の女性なども加わり賑やかに過ごす。風呂にも入り、ロッジの若いスタッフと播隆祭の前夜祭の打合せもして、16:45夕食。そして、前夜祭は玄向寺の副住職による播隆上人のお話の後に静岡ワングル担当の「山の歌コーナー」。槍ヶ岳の歌をしっかりとPRした。消灯迄播隆隊と懇談。  
コースタイム：上高地 BT600…河童橋 620…明神池 750-815…横尾 1000…槍見河原 1100…槍沢 1200

9/1(土)朝4:00に出発する予定だったが、大雨で出発を見合わせる。小屋前の槍沢は増水している。停滞を決め槍沢ロッジに連泊する。播隆隊は横尾山荘まで下るそう。中止を決めると、雨が止んだりする。状況を見ながら、少し上ってみる。大曲まで行ってきたが、沢はかなり荒れている。一瞬青空が出たりもしたが、また雨が降ってくる。ババ平でお弁当を食べ、小屋に戻り、全員で交流のディスカッション。和やかに交流できた。

コースタイム：槍沢ロッジ 1000…ババ平 1100…大曲 1200…槍沢ロッジ 1300

9/2(日)朝食後すぐに出発。彼らの希望で「白糸の滝」を観光することになったので、慌ただしい。心配した沢の増水もさほどではなく、ガレ場も無事通過。時々小雨は降るが、順調に下山。風呂や昼食の時間を短縮して、白糸の滝の見学時間を捻出して静岡に17:00到着。「魚膳」で日韓交流会。

コースタイム：槍沢ロッジ 530…横尾 645…徳澤園 745…明神館 840…上高地 BT930

参加者：6名（静岡南2、静岡東3、静岡西1）

天候：雨時々曇り

地図：穂高岳

記録：静岡東支部 OH!

(西鎌尾根コース) 8/31 前夜 22:00 に静岡を発ち、道の駅・風穴の里で仮眠をとる。翌朝 4:00 再出発。釜トンネル手前で槍沢コース組のバスと別れて新穂高温泉に向かう。1 時間程で新穂高センター前に到着する。雨は小康状態だが秋雨前線の南下で、予想される天候は思わしくない。車内で朝食を済ませて雨具を着用。6:00 過ぎ、バスの運転手に見送られて出発。車道は緩やかな登りだがすぐに雨具で蒸し暑くなる。わさび平小屋を過ぎるとやがて小池新道の入口に着く。秩父沢の上部は雨雲に覆われている。河原に沿って進むとやがて石が並べられた登りになる。沢にかけられた木橋を渡りながら高度を上げる。休憩をくりかえし、昼前に鏡平山荘に着く。槍・穂高の展望もきかない。小雨の中、玄関先を借りて昼食。じっとしていると寒さを感じる。ここから弓折乗越までは急な登りになる。処々に竜胆の花、ナナカマドの赤く色づいた実がきれいだ。乗越を過ぎてほっとしたのもつかの間、雷が鳴り始めた。2,622m 標高点を過ぎた辺りでライチョウの姿を見つける。やはり雷が鳴ると出てくるのか。双六小屋が遥かに見えると雨脚は強くなり、登山道は水浸しだ。幸い雷が激しくならないうちに双六小屋に着いた。雨具の中も、靴の中も濡れてしまった。夕方から雨も風も強まり始めた。

9/1 朝になっても風雨は続いていた。回復を待って待機するが予報は悪い。早朝に西鎌尾根に向かったパーティーがすぐに戻ってきた。風雨が強く、視界がきかないとのこと。鏡平から先が下山できないという情報が入る。そのうちに本部事務局との連絡がついた。槍沢コース組は槍ヶ岳を断念し槍沢ロッジから下山するらしい。こちらは身動き出来ない、今日は停滞になるのか。槍沢コース組の下山決定を知り、回復を待って進む気持ちが薄れる。暫くして、鏡平から先の下山ルートが確認できたとの情報が入る。それなら我々も槍ヶ岳を断念し速やかに下山しようと思える。8:00 過ぎ、樫沢岳へのルートを見送って下山開始。風はあるが雨脚は弱まった。鏡平を過ぎ、登ってくる登山者も多くなってきた。秩父沢辺りまで下ると雲が切れて西穂の稜線も見え始める。このまま回復するのか、若干の無念さ。13:35 わさび平小屋に到着。いつもは素通りしてきた小屋だったが思いがけず泊まることになった。はたして料理も美味しく、風呂にも入れる快適なものだった。

翌朝はマイクロバスの待ち時間を考えてのんびり出発したが、バスはすでに新穂高センターの横に停まっていた。その後、竜島温泉「せせらぎの湯」まで行き、槍沢コース組と合流した。今回は播磨祭への参加がかなわず、また西鎌尾根も歩くことも出来ず、残念な結果に終わってしまった。

参加者：8 名 (静岡北 4、静岡南 2、静岡西 1、藤枝 1)

天候：雨時々曇り

地図：笠ヶ岳・三俣蓮華岳

コースタイム：新穂高センター 605…わさび平小屋 735…秩父沢 910…鏡平 1145-1215…弓折岳分岐 1335…双六小屋(泊) 1450-820…弓折岳分岐 935…鏡平 1020-30…秩父沢 1210-30…小池新道入口 1315…わさび平小屋(泊) 1335-800…新穂高センター 900

記録：堀米正史